

部局名	生涯学習部	所属名	青少年課	所属長名	関根 薫	電 話	481-0306
-----	-------	-----	------	------	------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード		3992		事務事業名称		青少年指導育成事業					短縮コード		経常	3992	臨時	3993	
予算区分		会計	01	一般会計		款	10	教育費		項	05	社会教育費		目	12	青少年対策費	
区 分		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		○地方青少年問題協議会法 ○社会教育法 ○八千代市青少年問題協議会条例 ○八千代市補助金等交付規則 ○社会教育関係団体事業補助金交付要綱 ○千葉県青少年健全育成条例 ○地区青少年健全育成連絡協議会補助金交付要綱 ○千葉県青少年相談員設置要綱 ○八千代市青少年相談員連絡協議会補助金交付要綱 他									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																	
青少年健全育成のための環境づくりと指導者及び団体の育成を図るため事業を開始。 主な事業として、青少年問題協議会の開催、各種青少年育成団体の活動への支援、青少年団体指導者の養成講座の開催、青少年学校外活動事業の支援、成人式の開催、子ども憲章推進事業を実施している。																	
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測						総合計画の 施策体系	5本の柱（章）		02	人間尊重都市をめざして							
青少年を取り巻く環境が急激に変化していく社会にあって、自ら学び、自ら考え問題を解決する資質を持ち、また他者を理解し、協調し合える青少年を育成することが必要とされている。また、学校外における学習機会の充実や地域活動の推進体制の整備等が必要となり、行政・地域・学校・家庭が連携した事業の推進が重要視される。							大項目（節）		03	青少年健全育成							
							中 項 目		01	青少年健全育成							
							小項目（施策）		01	青少年健全育成基盤の整備							
									02	青少年健全育成事業の推進							
							細 項 目		01	健全育成体制の充実							
03	健全な環境づくりの推進																
実施計画の 計画事業																	
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円					

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	○青少年健全育成を目的としている機関・組織・団体等 ○おおむね30歳未満の青少年										
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： ○青少年問題協議会：委員の委嘱及び会議開催○青少年対策担当者会議：青少年対策事業実施関係部署からの資料を基に「青少年対策の概要」を作成及び会議開催○地区青少年健全育成連絡協議会への支援及び代表者で組織する地域ぐるみボランティア運営会議の活動への支援○青少年相談員連絡協議会の活動支援○社会教育関係団体の育成・支援○青少年学校外活動支援事業の運営・同実行委員会の活動支援○成人式の企画・運営○青少年団体活動等に関する情報の収集・提供○青少年団体指導者養成講座の開催○子ども憲章推進事業「八千代ふるさとかるた市民大会」の開催、市広報紙、子ども情報誌等へ「子ども憲章」の掲載や「憲章バッヂ」の配付 ※平成21年度に計画していること： ○青少年問題協議会：会議の開催○青少年対策担当者会議：青少年対策事業実施関係部署担当課からの前年度事業実績及び事業概要等の報告を基に「青少年対策の概要」を作成及び会議の開催○地区青少年健全育成連絡協議会の支援及び代表者で組織する地域ぐるみボランティア運営会議の活動への支援○青少年相談員連絡協議会の活動支援○社会教育関係団体の育成・支援○青少年学校外活動支援事業の運営・同実行委員会の活動・設立支援○成人式の企画・運営○青少年団体活動等に関する情報の収集・提供○子ども憲章推進事業：市広報紙、子ども情報誌等へ「子ども憲章」の掲載や「憲章バッヂ」の配付										
意図 （何を狙っているのか）	関係機関や青少年育成団体、地域住民の連携と参加のもと充実した青少年健全育成事業を実施し、青少年を正しく理解し、適切に指導していく体制の整備充実を図る。										
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外										
区 分					単位	1 9 年 度	2 0 年 度		2 1 年 度		
						実績	計画	実績	計画		
対象指標	指標 1	青少年健全育成を目的としている団体	団体		29	29	29	29			
	指標 2										
	指標 3										
活動指標	指標 1	青少年問題協議会開催数	回		0	1	1	1			
	指標 2	青少年健全育成を目的としている団体補助金額	千円		3, 345	2, 575	2, 575	2, 575			
	指標 3										
成果指標	指標 1	地域ぐるみボランティア運営会議事業実施数	回		2	2	2	2			
	指標 2	学校外活動支援事業参加者数	人		10, 011	8, 000	8, 892	8, 000			
	指標 3										
上位成果指標	指標 1										
	指標 2										
	指標 3										

コード	3992	事務事業名称	青少年指導育成事業				所属名	青少年課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			各関係団体の理解や協力を図り，若年層を含む幅広い世代が参加しやすい指導者養成講座の開催日程，講座内容等の改善を図りながら，設定をしていく。また，受講修了者に対して，地域活動への積極的な参加の促しや，必要としている地域へ修了者の情報を提供していく。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止（事業完了含む）								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			青少年育成団体の活動の低下を防ぐために，団体への補助金，支援経費を維持し，事業の推進を図っていく。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☒	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
・「子ども110番の家」のプレートの掲示状況についての質問があった。 ・成人式の開催日についての意見や参加の可否についての質問があった。									

所属長コメント	指導者の高齢化が進む中，活性化を推進するためにも青少年が意欲をもって活動に参加し，自ら学び協調性を育みお互いを理解し合えるよう，青少年育成団体や地域の方々との協力で，健全育成を図り青少年の指導育成事業を推進する。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，課題解決に努め，可能なことは順次推進すべき。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止（事業完了含む）									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									